

会 議 録

審議会等名	平成 27 年度 第 1 回三条市文化芸術振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 27 年 11 月 25 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時 45 分		
開催場所	中央公民館 大集会室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	委 員 丸山正夫委員、花柳雅鶴委員、西村邦明委員、櫻井綾委員、 岡村守委員、飯田満委員、馬場郁夫委員、鶴巻純子委員 三条市 大平部長、長谷川生涯学習課長、佐藤文化振興係長、 伊藤主任 (欠席者) 金子達雄委員、丸山鉄兵委員、		
協議題	(1) 会長の選出 (2) 平成 27 年度文化芸術振興事業の実施状況について (3) 文化振興基金の活用状況について (4) その他		
市民部長	あいさつ		
自己紹介	委員、市職員の順に自己紹介		
佐藤係長	議題 (1) について説明。 会長・副会長について指名推薦をお願いします。		
	会長に丸山正夫委員、副会長に岡村守委員の声あり、決定する。 会長及び副会長あいさつ後、以後の進行を議長として丸山正夫委員に お願いします。		
丸山会長	議題 (2) について説明をお願いします。		
佐藤係長	(平成 27 年度文化芸術事業の実施状況について説明)		
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、ご質問ご意見をお願いしたい。		
馬場委員	三条市美術展について作品の出品点数を教えてください。		
佐藤係長	作品の出品点数について、部門別では日本画が 27 点、洋画が 75 点、 彫刻が 8 点、工芸が 21 点、書道が 106 点、写真が 72 点となり、合計で 309 点の出品点数となった。 なお、去年は 320 点の出品点数であった。		
鶴巻委員	文化・芸術の一番星育成事業補助金について、絵画が 1 人いるとのことだが、コンクールの受賞歴はどうか。		
佐藤係長	受賞歴については目立ったものはないが、国公立の美術大学への進学		

	<p>を希望している。</p> <p>また、文化・芸術の一番星育成事業「デッサン教室」にも参加しており、講師の先生方からデッサン力の向上が見られるとの評価をいただいている。</p>
岡村副会長	<p>文化・芸術の一番星育成事業補助金について、書道については小学生から習う人が多く、中学生になると辞めてしまう人が多いため、補助対象者である小学校5年生から高校3年生となると、対象者の数が少なくなり、実情と違うのではないかと思う。もっと対象年齢を下げれば対象者も増えると思うがどうか。</p> <p>また、全国大会等出場支援にあるカロムとは何か。</p>
佐藤係長	<p>文化・芸術の一番星育成事業については、昨年から実施している事業であるが、平成26年度から平成28年度までの3年間は現行のまま実施させていただき、反省点や課題が出た中で平成29年度から見直しをした上で事業を実施していきたいと考えている。</p>
長谷川課長	<p>書道について、補助金の対象者では、書道人口が少ないのではないかと御指摘があったが、我々も書道の先生方や三条市美術展書道の部の審査員から話を伺ったところ、高校生のレベルが非常に高いとのことであった。</p> <p>三条市美術展の開場式イベントで、三条東高校書道部から書道パフォーマンスを行ってもらったが、話を聞くと将来的にも書道が続けたいという高校生も多くいた。</p> <p>岡村副会長の意見については、十分受け止めさせていただきながら、将来書道が続けたいという子どもたちをしっかりと支援させていただきたいと考えている。</p>
佐藤係長	<p>カロムについては、詳しいルールまでは分からないが、木のおはじきのようなボードゲームであり、東日本大震災の復興の意味合いもある競技ということを知っている。</p>
岡村副会長	<p>スポーツか。</p>
佐藤係長	<p>スポーツではない。</p>
長谷川課長	<p>カロムについてはグループで行う競技で、老若男女が楽しめる頭脳ゲームである。</p>
鶴巻委員	<p>デッサン教室について、講師陣を見ると大変素晴らしい講師であり、申込者も昨年より増えたとのことで、今後も継続していただきたいが、受講生達の成果を発表する場合は、市民ギャラリーの他にあるのか</p>
佐藤係長	<p>3月に開催される「まちなか文化祭」でも成果発表の場として受講生の</p>

	作品を展示したいと考えている。
花柳委員	文化・芸術の一番星育成事業補助金について、日本舞踊では、名取や師範になるためには、費用もかかり厳しい世界でもある。芸術の分野で一流となるためには、どの分野でも同じであると思う。この補助金が芸術の道で一流となる道を開くきっかけになってもらうとともに、厳しい世界であるということも教えていくことが大切だと思う。
佐藤係長	花柳委員の言うとおりに、芸術の世界で一流となることは厳しいことと思う。 我々としては、補助育成することで、三条市から文化・芸術の分野で一番星が誕生するということを信じて事業を進めていきたい。
櫻井委員	補助対象経費について消耗品費が3万円以内とあるが、楽器については該当するか。
佐藤係長	様々なケースが考えられるので、相談いただき対応させていただきたい。
西村委員	小学校等で小コンサート等を実施する際に、それらを広報することにより、地域の方だけでなく、広く市民の方にも楽しんでもらえると思うがどうか。
佐藤係長	学校の保護者や地域の方以外の人達に周知するとなると学校との調整も必要なため難しいと思う。
丸山会長	他に質問が無いようなので、議題（3）について説明をお願いします。
佐藤係長	(文化振興基金の活用状況について説明)
丸山会長	ただいま事務局から説明があったが、ご質問ご意見をお願いしたい。
丸山会長	基金が減っていく中で、基金について周知をしていただくようお願いしたい。
佐藤係長	分かった。実施していきたい。
岡村副会長	芸術鑑賞ツアーについて、芸術に関わっている人が参加して勉強しているのか疑問である。関係の無い人が行っているようである。 必要な事業なのか。
長谷川課長	芸術鑑賞ツアーにつきましては、芸術に関わっている人に限らず、広く市民に一流の芸術に触れる機会を設けることを趣旨として実施していることを御理解いただきたい。
花柳委員	芸術鑑賞ツアーに参加した人は、どのようなことを言っているのか。
佐藤係長	毎回アンケート調査をしており、こういう機会が無ければ行けないということで好評を得ており、継続してもらいたいという声が多い。

	生涯学習課としても芸術鑑賞ツアーという機会を与えることで、市民が一流の芸術に触れることができるということは意義のあることだと思っている。
丸山会長	他に質問が無いようなので、議題（４）について説明をお願いします。
佐藤係長	若手芸術家支援事業について、相談させていただきたい。 若手芸術家支援事業は、全国規模の伝統ある公募展等で優秀な成績を有する三条市在住の概ね 50 歳までの若手芸術家に対し支援しているもので、平成 25 年度は書道家の中村暢子さんの作品展を実施、平成 26 年度は書道家の阿部嘉美さんの作品展を実施、本年度については、銅版画の鶴巻貴子さんの作品展を 3 月中旬に予定しているが、来年度については未定となっている。 懇談会委員の推薦か一般公募を考えているが、誰か推薦できる人がいればお願いしたい。
鶴巻委員	対象者について、三条市在住または出身者としたと思うがどうか。
佐藤係長	指摘のとおり、三条市在住または出身者である。 しかし、基金を活用する事業であるため、三条市在住者をまずは優先させていただきたい。
岡村副会長	条南町に住んでいる書道家の檜川鋳研さんはどうか。現在 41 歳である。独立書展等での受賞歴もある。本人にも話をしたが、感触として良かったので、引き受けてくれると思う。
丸山会長	他にはどうか。 他の部門からも候補がいればお願いしたい。
丸山会長	前阿部会長に相談したところ、洋画の渡邊美保子さんはどうかという話があった。日展にも出されているようである。
丸山会長	継続する事業のため、今後も皆さんの中で別の候補者がいれば、出していただきたい。
長谷川課長	皆さんからの意見を基に検討させていただきたい。
岡村副会長	皆さんから他に無いようでしたらこれにて終了する。